

クラスター	生体機能系クラスター			
授業科目名	薬学・実習			
担当者名	責任者	三浦 昌朋	分担者	赤嶺 由美子
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義:1~4, 実験実習:5~10	実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照	
開講期間	2026年1月(日程の詳細は応相談)			
開講曜日・時間	1月の第3週~第4週 18:00~21:00(日程の詳細は応相談)			
授業の概要・到達目標 授業の目的: 患者個別化薬物治療学について理解することを目的とする。 授業の到達目標: 薬物治療学にかかる講義, 実習を履修することで薬剤の効果や薬物の測定方法, 解析方法を理解し, 説明できることを目標とする。 授業の概要: 1. 薬物動態学と薬理遺伝学では, 薬剤の効果には, 個人個人で大きな差があり, この個人差が いかに生じるかについて学ぶ。 2. 薬物血中濃度測定方法と薬物代謝酵素遺伝子多型解析方法を会得することにより, 疾患時に おける薬物動態と薬物相互作用について学ぶ。				
授業計画				
	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕	
1	臨床薬理講義(薬物動態学)	三浦 昌朋 赤嶺 由美子	薬物動態学 〔Zoom〕	
2	臨床薬理講義(薬理遺伝学)			
3	臨床薬理学の実践(血中濃度測定)			
4	臨床薬理学の実践(遺伝子多型)			
5	実習(血中濃度測定)		薬物動態学 〔研究室〕	
6	実習(血中濃度解析)			
7	実習(遺伝子多型測定①)			
8	実習(遺伝子多型測定②)			
9	実習(遺伝子多型解析①)			
10	実習(遺伝子多型解析②)			
授業形態および成績の評価方法・基準 研究室での講義・実習30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と 提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 三浦 昌朋, m-miura@hos.akita-u.ac.jp				
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じま す。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				